

あびらの未来を、みんなで考える。

新しい総合計画づくりが始まっています

「総合計画」は、町の未来のかたちを決める大切な計画です。

現在、平成29年度から始まった第2次総合計画に基づき、令和8年度までの10年間で、さまざまな取り組みが進められています。

この計画は、教育や子育て、人づくりやコミュニティづくり、経済や産業、健康や福祉、生活環境や生活基盤など、安平町に関わるあらゆる分野の「方向性」を示す「まちづくりの設計図」であり、将来の「ありたい姿」を出発点として定め、そこに向かうための道筋が段階的に描かれています。

本ページでは、計画に関するお知らせや令和9年度からスタートする「第3次総合計画」の策定へ向けた町の取り組みなどについてお知らせします。

前回のおさらい

前々号（広報あびら12月号）では、「総合計画とはどういうものか」について、8月号から深掘りしてお伝えしました。総合計画は「なぜやるか」を定める基本構想」「どうやるか」を定める基本計画」「何をやるか」を定める実施計画」という三層構造となっています。住民の皆さんにとって『何をやるか』が最も重要ですが、その理由などをしっかりと見定めて住民の皆さんと共有していくことも大切だと考えています。

安平町ではここ数年、転入される（入ってくる）方の数が転出される（出ていく）方の数を上回る状況が続いている。こうした成果に結びついている背景にある「第2次総合計画」の特長や人口の状況などについてお伝えします。

人口の推移



※2025年以降の社人研推計は、2020年国勢調査結果を踏まえた推計ではなく、
社人研の平成30年3月公表値を使用（2015年国勢調査結果を反映）

出典：国勢調査、2025年以降は社人研推計

このグラフは、これまでの人口と公的機関が算出した将来の推計値を表したもので、1960年付近をピークに年々人口減少が進み、2025年の推計値以降もその傾向が続くと予想されています。